

2024年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社ACSL  
代表者名 代表取締役CEO 鷲谷 聡之  
(コード番号: 6232 グロース)  
問合せ先 取締役CFO 早川 研介  
(TEL. 03-6456-0931)

## 2023年12月期 通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社グループは、2023年12月期通期連結業績につきまして、前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 1. 2023年12月期通期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) 2022年12月期	1,635	△2,203	△2,174	△2,591	△209.77
今回発表業績 (B) 2023年12月期	896	△2,071	△2,102	△2,543	△197.05
増減額 (B - A)	△738	132	71	48	—
増減率 (%)	△45.2	—	—	—	—

## 2. 通期連結業績と前期実績との差異の理由

2023年12月期の連結業績予想につきましては、経済安全保障の動向により海外における新たな市場機会の創出が見込まれる一方、当社グループの海外での販売体制の構築の進捗や、半導体の供給不足などのマクロ環境の変化により、大きな業績変動が見込まれることから、国内及び海外の売上高合計においては前連結会計年度と同等以上の売上高を見込むものの、海外における売上高について適切かつ合理的な数値の算出が困難であり、また、2023年8月10日公表のインドにおける大型案件の収益認識に関する会計処理について検討中のため未定としておりました。

売上高につきましては、外部環境の変化に伴い、当社グループを取り巻く事業環境は当時の想定より厳しい状況となっており、成長をけん引する想定であった国産の高セキュリティ対応の小型空撮ド

ローン「SOTEN」は、国内においては販売台数が伸び悩んでいる一方、米国市場での販売を開始し、2023年12月期に50台を販売いたしました。また、2023年12月期の売上高として見込んでおりました、インドにおける大型案件について、輸出手続きは完了し、一部の製品は、現地に到着したものの、2023年12月期に販売先における検収が完了せず、2023年12月期の売上高には含まれないこととなりました。以上により、2023年12月期通期連結売上高は、前期実績を下回りました。なお、インドにおける大型案件については、2024年12月期の売上高として見込んでおります。

営業利益につきましては、海外展開に係る販売費、新規機体開発に係る研究開発費などを計上いたしました。当社グループ全体で各種費用の適正化に努めたことから、営業損失が前期実績を下回りました。

経常利益につきましては、資金調達に伴う株式発行費及び社債発行費などの営業外費用を計上いたしました。営業利益の増加に加えて、助成金収入などの営業外収益を計上したことから、経常損失が前期実績を下回りました。

親会社に帰属する当期純利益につきましては、投資有価証券評価損を計上いたしました。経常利益が増加したことから、親会社に帰属する当期純損失が前期実績を下回りました。

以 上